

JA みのぶ

7月号



飼料用米多収日本一コンテストで全国農業協同組合中央会長賞を受賞した
美唄市豊葦町の加藤禎行さん

■発行日/令和4年7月1日/No.1443号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社



表彰式で挨拶を述べる加藤禎行さん

全中会長賞 加藤禎行さん受賞
6月1日、JJA三階会議室で
令和3年産飼料用米多収日本一コ
ンテストで全国農業協同組合中央
会会長賞を受賞した加藤禎行（美
唄市豊葦町）さんの表彰式を行
いました。

コンテストは10ヶ所当たりの収量
の多さと、地域平均からの増収量
を競うもので、加藤さんは「そら
ゆたか」と「さんさんまる」の2
品種の平均で単収873キロと高水
準となりました。

「飼料用米多収日本一コンテスト」は、生産技術の面から先進的で他の模範となる飼料用米生産者を表彰し、その成果を広く紹介することで、飼料用米生産農家の生産に係る技術水準の向上を図ることを目的に実施され、今回で7回目となります。表彰区分は「単位収量の部」と「地域の平均単収からの増収の部」の2部門からなり、それぞれ6種類の賞の受賞者を決定しています。

コンテストは10回、当たりの収量の多さと、地域平均からの増収量を競うもので、加藤さんは「そらくたか」と「さんさんまる」の2品種の平均で単収873kgと高水準となりました。

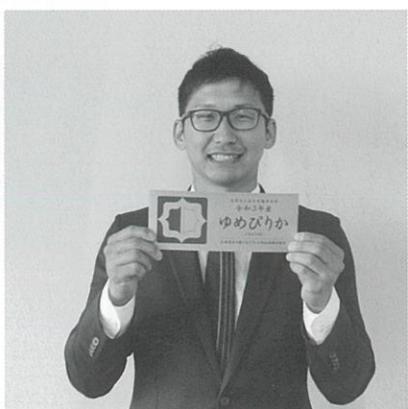
**飼料米コンテストで
全中会長賞 加藤禎行さん受賞**
6月1日、JA三階会議室で
令和3年産飼料用米多収日本一コン
テストで全国農業協同組合中央
会会長賞を受賞した加藤禎行（美
唄市豊葦町）さんの表彰式を行
いました。

に代わり伊藤組合長より表彰状と
JAから記念品を贈呈しました。
表彰式で伊藤組合長は「収量は
もちろん、それぞれの品種ごとに
刈取適期を分散させていることや
先進的なドローンの活用、施肥デ
ータなどを蓄積した経営内容も高
く評価された」と説明しました。

「ゆめぴりか」生産者表彰
徹底した品質管理で
連続受賞目指す

6月1日、JA三階会議室で
北海道米の新たなブランド米形成
協議会が主催する令和3年産「ゆ
めぴりか」良質米生産出荷表彰者
の受賞式を行いました。

「ゆめぴりか」生産者表彰
徹底した品質管理で
連続受賞目指す



金のマグネットを手にする
岡部卓磨さん

当JAからは、外シノ外側68%以下の出荷数量が全道平均値を上回る生産者として2名が優秀表彰。タンパク値7.4%以下の出荷数量が全道平均値を上回る生産者として4名が優良表彰を果たしました。

アスパラガス出荷。ピーク
5月中旬、JA管内で露地栽培
したアスパラガスの出荷が最盛期
を迎えました。
アスパラガスを222キロ作付け
している峰延グリーンアスパラ生
産組合の渡辺雄市さん（71）は、
品種「ウエルカム」を10ケース、
約130キロ出荷しました。

出荷開始時期は、昨年より4日早い5月1日から始まり、昨年の台風による被害が少なかつたことや春先の高気温により、生育は順調で収量も例年を超える見込みです。

マグネット、優良表彰者へは、えんじ色認定マークのマグネットが授与されました。

J A 管内では、生産者の高齢化による生産農家の減少が今後の課題となつております。今後作付者の拡大に向けて、所得・営農技術・販売環境についてわかりやすく整理したリーフレットを作成し興味ある方への新規勧誘などを推進いたします。



採れたてのアスパラガスを出荷する
渡辺雄市さん

也さん、中小屋地区の山本隼さん
合計4人の新規就農者が仲間に加
わり、JAグループ北海道の各連
合会などから激励状と書籍や苗木
が送られたほか、当JAからはカ
タログギフトを贈呈しました。

伊藤組合長は「現在の農業は非
常に厳しい情勢ではあるが、スマ
ート農業を始めとするさまざまな
農業の形が変化している中で、と
ても期待の持てる可能性の多い職
業もある。ひとつずつ経験を積み、
仲間や先輩たちに相談をしな
がらまい進してほしい」と激励し

也さん、中小屋地区の山本隼さん
合計4人の新規就農者が仲間に加
わり、JAグループ北海道の各連
合会などから激励状と書籍や苗木
が送られたほか、当JAからはカ
タログギフトを贈呈しました。



伊藤組合長から激励状を受ける山本隼さん

新規就農者の皆さんには、今後の地域農業の担い手として、更なるご活躍を期待しております。

令和4年度 新規就農者紹介



激励を受けた新規就農者（前列）と常勤理事

① 東京へ行く、友人と温泉へ行く
② 地元で友人達と地域に貢献でき
ればと思い
③ まずは勉強し、そこから自分に
合った農業をみつけたい

① お出かけ
② 農業に興味があつたから
③ 美味しいお米を作りたい

地区 岩見沢市北村
やま もと しゅん さん
山 本 隼 (25歳)
経営主 山本和幸さん

地区 岩見沢市大願町
たか だまさ や さん
高 田 雅也 (25歳)
経営主 高田康行さん

地区 美唄市豊葦町
おおとも じょう へい さん
大 友 翔平 (30歳)
経営主 大友健治さん



種の植え方を教える目黒泰行部長

6月6日、目黒泰行青年部長の農園で、美唄市内の園児を招き子どもたちに農業の楽しさを知つてもらうことを目的にトウモロコシの種まき体験会を行いました。今年は美唄アカシヤ幼稚園、美唄めぐみ幼稚園、茶志内双葉保育園、進徳保育園の園児50人が参加し、JA青年部員5人が園児に種の植え方を教きました。

開会の挨拶で目黒部長から「秋になれば美味しいとうきびになつ

園児がトウモロコシの種を植えつけ青年部員が

J Aでは地域活性化に向けた取り組として、「食」と「農」の文化を伝え、その大きさや魅力を感じてもらおうと、J A青年部と協力して市内の園児に農業体験会を行つており、地域に根ざした食育活動を始めて今年で2年目になります。8月下旬にはトウモロコシの収穫体験を予定しています。

返事をして作業を始めました。園児たちには、1人当たり10粒の種が配られ、一粒一粒丁寧に土の中に押し込んで作業をしていました。

てくれると思うので頑張りましょ



トウモロコシの種を植える園児

**ポプラ会がサツマイモ苗移植
今秋600キロ収穫見込む**

6月7日、青年部ポプラ会の荒井翔悟部長の圃場でサツマイモ苗の移植作業が行われました。

サツマイモの苗を植える荒井翔悟部長

同日は、毎年10月に行なうボブ会伝統行事のサツマイモ販売に向けて、「安納芋」200株を2ルアの圃場に移植しました。

今年は、各部員の圃場で「安納芋」「紅はるか」「シルクスイート」の3品種1,000株を栽培し、秋には600キロほどの収穫を見込んでいます。

苗の植え付け方について、荒井

JA大豆乾燥調製貯蔵施設で視察研修会を行い、15人の部員が参加しました。

当JA営農販売課の横田職員が施設の概要について説明し、調製ラインの見学を行いました。

見学は大豆の調製の流れに沿つて行い、事前に用意した各調製機械から排出された大豆や屑大豆のサンプルなどを見学しました。

視察に訪れた皆さんは、空知管内ではあまり導入されていないタバコ力を使う汚粒クリーナーや汚粒・割れ・しわ・虫食いを除去する色彩選別機について興味深く見ていました。

その後の質疑応答では、大豆乾燥調製貯蔵施設の年間の稼働期間や、1日の処理量など積極的に質問が出ていました。

J Aみねのぶ青年部では、営農技術・知識の向上を目的に今後も研修会を開催していきます。

メロン摘果作業終える

有限会社岩間ファームでは、4月上旬に定植したメロン「レノン」が順調に成長し、6月上旬に摘果作業が行われました。

摘果作業は、ひとつめのメロンに栄養分が十分に行き渡るようにするために行われ、メロン1株から2本のツルが伸び、ツル1本についた実をいくつか摘み取り4つだけを残します。

摘み取るメロンの選び方について岩間ファームの岩間秀一さんは「丸く形のいいものを残す。大きくなりそうなメロンは見たらわかれを残します。



摘果作業後に残ったメロン



生育状況を確認する部員の皆さん

ハスカッズ生産組合圃場確認

6月17日、峰延ハスカッズ生産組合の北勝好さんの圃場で、収穫開始時期の確認や最盛期はいつ頃になるかなどの確認が行われました。

同日は19人の生産者が参加し、今年の出来や剪定のポイントなど活発な意見交換が行われました。

最後に、同組合の高橋廣会長から「農薬の使用可能な日にちを逆算して、農薬が残留しないよう徹底してください」と注意を呼び掛けました。

同日は、コーポさつぼろ宅配事業部の坂本職員、ホクレン道央支店パールライス販売2課の鈴木課長、菊地職員をお招きして行われ、同会の会員8人が参加しました。

「米づくりを考える会」では、安心安全な環境で栽培された「ふつくりんこ」の「土生米」の生産に取り組んでいます。「土生米」

はイエス！クリーンに登録された減農薬米で、環境の変化や農薬の使用により生息できなくなつたドジヨウが、産卵しふ化できる環境作りを目指して今年で10年目になります。

今年は99%のドジヨウを用意し、10%当たり300kgのドジヨウを放流。土生米の作付面積は32haで、昨年より2・5ha増加しています。

同会の鈴木孝典会長は「消費者と関わることが少ない中で、こうした交流会を開催できてうれしく

「ドジョウ」引渡し水田へ放流 安全・安心な米作りに取り組む

安全・安心な

6月21日、当JAの「米づくりを考える会」は目黒泰行さんの圃場でドジヨウの放流会を行いました。

6月21日、当JAの「米づくりを考える会」は目黒泰行さんの圃場でドジヨウの放流会を行いました。

思う。今後も作付面積を増やし多くの消費者へ届けたい」と話しました。



水田にドジヨウを放流する目黒泰行さん



米づくりを考える会の皆さんと横田職員

3年ぶりに ハスカップ観光農園開園

本年のハスカップ狩りは6月27日から6戸の農園で始まり、新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開園となりました。

《ハスカップ狩り》

・期間：6月27日から約3週間
(ただし、実が無くなり次第終了)

・開園時間：7時～17時

・料金：入園無料

・摘み取った実は全量持ち帰り

1キロ 1,200円

・摘み取り済みは

1キロ 2,200円

・問合せ先

J Aみねのぶ営農販売課

(☎ 0126-67-2115)

地域の皆さん が花いっぱい運動で JAに花プランター設置

6月10日、地域の皆さんがボランティアで花プランターを作りJA出入口に設置しました。

「花いっぱい運動」は色とりどりの花を植えることで峰延地域の景観を美化することを目的に行われました。

同日は、マリーゴールドやラベ



ご協力いただいた（左から）矢部亜紀子さん、鈴木美恵子さん、吉村俊子さん、小川眞知子さん、荒井智美さん

社労士による年金相談会開催 受給方法など丁寧に説明

6月17日、当JA会議室で年金相談会を開催しました。

J Aでは、組合員や利用者の皆様が安心して年金を受給できるよう年金相談会を毎年開催しております。今回も事前に予約を受けた5

人が相談に訪れました。

ンダーなど6種類の花苗を60ポット用意し、色鮮やかな花を1つ1つ丁寧に鉢からプランターに色々バランスを考慮しながら植え替えていました。

ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。



年金について丁寧に説明

清掃活動に参加 海ごみゼロを目指して

6月15日、生活協同組合コープさっぽろが主催する「H o k k a i d o 海のクリーンアップ大作

戦！」に当JAを代表して3名の職員が参加し、石狩市の海水浴場「あそびーち石狩」でごみ拾いを行いました。

毎年800万トンのプラスチックごみの海洋流出が世界規模の問題となつており、海洋プラスチックごみの70%以上が街から河川を経由して海洋へと流出した「街のごみ」です。コーポさっぽろでは、

できるところから始める、そして北海道の海をみんなでキレイにしていくことを推進するため、海や川などの清掃活動を始めて今年で2年目になります。

2050年には海洋中のプラスチックの量が、魚の重量を超える

人の方々が相談に訪れました。

相談を受けたのは、荒社会保険労務士（札幌市）で、年金受給に必要な手続きや年金額の試算など、年金に関する疑問について分かりやすく丁寧に説明していました。

一俵でも多く出荷いただけるよう努力してまいりますので、よろしくお願い致します。

した。

訪問先の組合員の皆さまには農作業を中断して早朝、夕方などに

時間を作つていただきましたこと、努力してまいりますので、よろしくお願い致します。

一俵でも多く出荷いただけるよう努力してまいりますので、よろしくお願い致します。

と予測されています。キレイな海と環境を守るために、プラスチック製品の使用を減らす、ごみ拾いに参加するなど、一人一人ができることから取り組むことが求められています。

また、農業生産分野では、使用済みプラスチックの適正処理、排出抑制に資する資材の利用や可能なものは再利用するなど、農業由来廃プラスチックの排出抑制に努めるよう推進されています。



石狩浜でのごみ拾いの様子

JA全農が5月31日に、6～10月に供給する秋肥の価格を、前期（昨年11月～本年5月）に比べて

肥料価格が大幅値上がり

单肥では尿素や塩化カリを中心には94%値上げ、窒素・リン酸・カリを各15%含む基準銘柄の高度化成肥料は55%値上げすると発表しました。ホクレンも、来年5月までの価格を平均78.5%引き上げると発表しました。

原因は、ロシアのウクライナ侵攻で、肥料の原料となる窒素等の産出量が多い両国からの輸出が停滞し、国際市況が高騰したことです。また、原油高騰に伴う輸送コストの値上がり、大幅な円安も価格の押し上げ要因となっています。

政府は、肥料高騰に対する影響緩和策を検討する方針を示し、自民党は秋肥にも対応した仕組みの創設を政府に求めるとしています。また、政府は物価高騰への「総合緊急対策」で、調達先の変更に伴い増える輸送費に対する補助金支給を決めたと報道されました。

6月14日に開催した北海道の6

月の定例道議会に、約21億円の肥料高騰対策にあてた物価高騰等緊急対策として補正予算に約24億円を盛り込み、農業者に対し肥料支援金として支給するとしています。

t 当たり3125円を肥料購入支援金として支給するとしています。

JA全農が5月31日に、6～10月に供給する秋肥の価格を、前期（昨年11月～本年5月）に比べて

J Aみねのぶ女性部 創立70周年記念式典に28名が参加

3月22日、JAみねのぶ女性部創立70周年記念式典が当JA会議室で盛大に行われました。

同日は、女性部役員をはじめ、歴代の役員・事務局長など総勢28名が参加しました。

式典では、歴代部長、副部長、事務局長、事務局に對して感謝状と記念品が贈呈されました。

コロナ禍により、人数を制限した中の開催となりましたが、女性部活動に貢献された方々に温かい拍手が贈られました。

現在、女性部の活動は一時縮小していますが、フレッシュミズの会は従来どおり活動を続けており、会員募集中です。

フレッシュミズの会は、食や農業に関心のある女性が集まつて作ったJA女性部の部会で、現在の会員数は7名です。

部員相互の教養と親睦を深めることを目的に、研修旅行や親睦会などを行っています。

農業をしている女性はもちろん、農業をしていない女性も大歓迎です。当JA区域内に居住している

方なら誰でも加入できます。興味のある方はお気軽に事務局までご連絡ください。

事務局：営農販売課 林

☎ 671-2334



式典の様子



参集いただいた皆さん

第5回（6月）定例理事会の開催

6月28日開催の第5回（6月）定例理事会において次の事項が決定されました。

◇付議事項◇

1. 諸規程の一部変更について
2. 組合員による持分の譲渡の承認について
3. 持分の減口について

おくやみ申し上げます

加藤利一さん

（96歳）5月25日
美唄市光珠内町3区

中川忠夫さん

（97歳）5月26日
美唄市光珠内町北

上島ミヨ子さん

（92歳）6月20日
美唄市光珠内町南

徳報

衰亡は利権の争奪から



尊徳翁は、次のように話された。
国家の盛衰存亡は、人々が自分の利益を確保するために、激しく争うことが原因であることが多い。豊かな人は、十分に足りたと自覚せず、

世の中の人を支援するという考えも持たずに、既に多くを持っているにもかかわらず、今以上の財産を求めて、自分勝手な行いをするために思いをめぐらす。しかも、現在の状況に関して、天の恩も感じず国への恩も思わない。

貧しい人も、何とかして自分に利益をもたらそうと考えるが、工夫が足りないので、村の経費負担を納められず小作料も払えず、借りたお金なども返せない。

富める者、貧しい者、共に恩義・正義を忘れ、願つても、祈つても実現できそうも無いことに望みをかけて、争っている。その見込みが外れたときには、破産という、大河の浮き瀬に沈むようなことになる。

この大河も、その怖さを認識してはいる時には、溺れ死ぬなどということにはならず、向こう岸に泳ぎ着くとか、浮かび上がって戻るとかで生きる。しかし、認識なしにこの大河に入つた時には、再び浮かび上がるうことなく、命を終わらせることになる。可哀そうなことである。

私の教えていることは、世間からこのような弊害を取り除き、世間を出来るだけ安楽な地に変えていく方法である。

（夜一〇四）

青年部だより

Vol. 2

With
JA YOUTH
Smile

大豆乾燥調製貯蔵施設の見学を終えて

鈴木達也

6月10日に現地研修として農協職員の方による大豆乾燥調製貯蔵施設の見学が行われました。

施設内はゴミを除去するための粗選機から始まり、荷受計量機を通り、湿気が多い大豆は乾燥機にかけた後に風を利用してゴミやチリを飛ばす横型風力選別機、磁石

を用いたマグネットストーナーで鉱物性の石を分離する機械、タピオカの粉を用いて汚粒をタピオカの粒を使つて大豆をキレイにする機械だつたので、タピオカの粒で大豆の汚れた所をキレイにできることに驚き、汚粒の減少につながらり、出荷量の増加につながれば農家さんの利益が上がりいい結果になりました。

残りの比重選や色彩選別機、シフターなどの機器は、米や麦の色彩選別機の感じと似ていました。

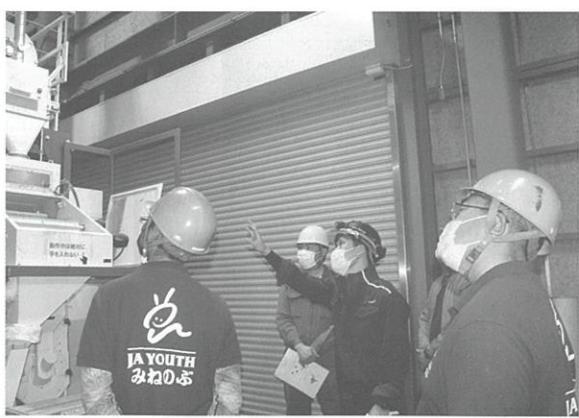
大豆の出荷の流れは10月位から12月まで行われ、出荷までの長期

間大豆の施設が稼働していること
も分かり良かつたです。

普段見ることのできない貴重な
体験をありがとうございました。



大豆施設の見学をする青年部員の皆さん
(左から) 大槻和洋副部長と目黒泰行部長



大豆施設の見学をする青年部員の皆さん

当JAの業務紹介**vol.1**

今後、何回かに分けて当JAの業務内容を部署毎に紹介します。

総務課(総務・集中経理)

総務課(総務・集中経理)では、人事労務管理、経営管理、経理業務、情報機器管理などのほか、組合の加入や脱退、お悔やみのFAX受付、広報誌の発行など様々な業務を行っています。

**総務課(生活店舗)**

総務課(生活店舗)では、消費生活に必要な食料品などの生活必需品を提供しています。



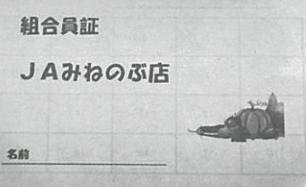
今年もやります! 開催期間: 7月1日(金) ~ 8月8日(月)

組合員ビッグサマーセール

うれしい 2大特典 をご用意しています!

特典① 期間中のお買い上げ金額1,000円につき抽選補助券1枚、5,000円につき抽選本券1枚を進呈。

特典② 期間中、1,000円以上のお買い上げでJAみねのぶ生活店舗組合員証をご提示いただくと、ポイント2倍。土曜・日曜は、なんとポイント5倍!

**組合員ビッグサマーセール大抽選会・農産物直売会のお知らせ**

開催日時: 8月14日(日)

抽選会は12時から14時まで
直売会は12時から15時まで

抽選会について

抽選本券1枚で1回抽選に参加できます。補助券5枚で本券1枚と交換できます。

抽選補助券の交換は8月9日までにおねがいします。

1等は旅行券10万円分!その他にも豪華賞品をご用意しています。

空くじなし

直売会について

当JA管内で採れた新鮮な野菜や米、花などを特別販売します。

また、お子さま向けのくじ引きやキッチンカーなども出店予定です!

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS

日本農業新聞 電子版

令和4年8月から
220円の値下げ

月額料金 **2,403円** (税込み)

※7月までは2,623円(税込み)です。

機能と使い方

Q&A
(よくある質問)

電子版でできること

いつでも、どこでも

スマートフォンやタブレットを使い、お好きな時間と場所で、情報収集ができます。

過去記事検索が30日分

見逃した記事もさかのぼって読むことができます。検索で欲しい情報を効率的に集められます。

クリップ機能で
記事を保存

気になる記事を最大200件まで保存できます。「まとめ読み」にも役立ちます。

紙面ビューアーの特長

読みやすさ、そのまま

いつもの紙面と同じレイアウトです。7日分の記事が読みます。

文字を大きく

紙面を拡大・縮小すれば、お好みの大きさに文字サイズを調整できます。

紙面丸ごと印刷できる

すべての面が印刷可能。大事な記事の保存やスクラップに役立ちます。

電子版は
朝5時配信！



●初回のみ、購読開始月は月末までの料金がかかりません(無料期間中の解約はできません)。

●電子版のみの料金です。紙版を併せて購読する場合は紙版の購読料が別途発生します。

●電子版は個人向けサービスです。法人プランはございません。なお、法人代表者が個人でお申し込みいただくことは可能です。

電子版のお問い合わせやお申し込みは、お近くのJAまでご相談ください。

主なコンテンツ

①記事カテゴリー

「営農技術」「ビジネス」「地方版」など、カテゴリーを選んで記事が読みれます。

②アクセスランキング

電子版で多く読まれた記事トップ5を紹介。農業界で注目の話題や関心事、トレンドがつかめます。

③写真・動画

新しい技術や農業資材を、映像と音声で詳しく紹介します。

④netアグリ市況

青果(野菜・果実)、花、畜産などの全国主要市場での取引結果を即日公開します。



公式ウェブサイトからのお申し込み方法

Step 1

公式ウェブサイトにアクセスし、メールアドレスを登録

<https://www.agrinews.co.jp/page/subscribe2>



Step 2

届いたメールのURLをクリック

Step 3

支払い方法の選択

(JA口座振替/クレジットカード払い)

Step 4

読者情報の入力

入力フォームにしたがって、お名前・住所等の情報を入力してください。

Finish!

お申し込み完了

お申し込み画面

支払い方法の選択

J A 口座振替

一部のJAでは当サイトからのお申し込みに対応しておりません。日本農業新聞までお問い合わせください。

※当該JA管内にお住まいで、すでに口座をお持ちの方以外は、お申し込みをお断りする場合があります。
※口座確認などのため、購読開始までに1週間以上かかる場合があります。

クレジットカード払い

ご注意ください

JA口座振替の方

口座のあるJA名、支所・支店名をご選択ください。

クレジットカード払いの方

J Aから購読の紹介を受けた場合は、入力項目「購読のきっかけ」でJAの紹介で]を選び、JA名、支所・支店名をご選択ください。

※JA職員の方は所属するJAをご選択ください。

紙版から電子版に切り替える方

「紙版」の中止手続きが必要です。紙版を契約したJAまたは新聞店へ、配達中止をお申し出ください。

便利!

iPhone+Safari



Safariの
メニューアイコン

ショートカットアイコンの作り方



スマホのホーム画面にアイコンを作れば、素早く電子版にアクセスできます。

Android+
Google Chrome



Google Chromeの
メニューアイコン

Step 1 ブラウザーで「日本農業新聞公式ウェブサイト」を開き、メニューインデントをタップ

Step 2 メニュー内の「ホーム画面に追加」をタップ

Step 3 「追加」をタップ

Finish! ホーム画面にアイコンが追加

※アイコンの作り方は、OSやブラウザーの仕様によって変更になる可能性があります。

探して
います

National ナショナル
FF式 石油暖房機
1985年(昭和60年)～1992年(平成4年)製



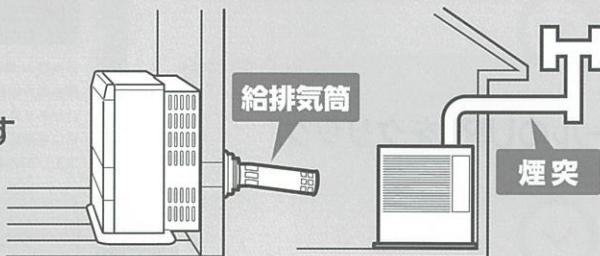
一酸化炭素 無臭
が室内に漏れ出し

死亡事故に至る

おそれ
があります

対象製品には
屋外に給排気筒、
または煙突があります

対象製品の品番につきましては
裏面をご確認ください



いま一度、ご確認をお願いいたします

対象製品を
お引き取りの際は
1台当たり 5万円
お支払いいたします

対象製品にお心当たりがございましたら、品番をご確認のうえ、下記専用フリーダイヤルまでご連絡ください
[FF式石油暖房機専用]フリーダイヤル電話 ※携帯電話からもご利用いただけます

0120-872-773 FAX(専用)
0120-870-779

[受付時間] 9:00～17:00 (土・日・祝日・弊社休日を除く)
上記時間外につきましては、留守番電話にて受け付けさせていただきます

パナソニック株式会社(旧社名:松下電器産業株式会社)

お客様からご提供いただきました氏名・住所・
電話番号などの「個人情報」は、対象製品の
お引き取り、点検修理の目的以外には使用い
たしません

<https://panasonic.co.jp/ap/info/important/heating/>



National ナショナル FF式石油暖房機

2005年(平成17年)4月21日と11月30日にリコール社告をさせていただき、製品回収・点検を進めてまいりました。引き続き回収・点検を進めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

一酸化炭素 無臭が 室内に漏れ出し 死亡事故に至るおそれがあります

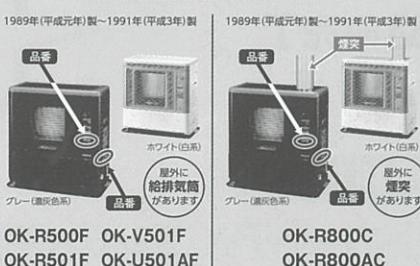


OK-2525 OK-3536
OK-2526 OK-3537
OK-2535 OK-4020
OK-2536 OK-4030
OK-3525 OK-2526HA
OK-3526 OK-3527HA
OK-3527 OK-4020HA
OK-3535



OK-302B OK-402B
OK-303B OK-403B

ナショナル石油フラットラジアントヒーター



OK-R500F OK-V501F
OK-R501F OK-U501AF

対象製品をお引き取りの際は

1台
当たり 5万円
お支払いいたします

大変ご迷惑をおかけしております
謹んで深くお詫び申し上げます

[FF式石油暖房機専用]フリーダイヤル電話 ※携帯電話からもご利用いただけます

0120-872-773 FAX(専用)
0120-870-779

[受付時間] 9:00～17:00
(土・日・祝日・弊社休日を除く)

上記時間外につきましては、留守番電話にて
受け付けさせていただきます

今でもこのようなところで見つかっています



空き部屋(2階など)



物置・倉庫・納屋



実家

廃棄 既に廃棄された対象製品の情報もお待ちしております

